



のう そう
能宗 正洋
誠友会
(35分)
QRコード

終活支援は

問 福山市版エンディングノート
「わたしのこれからノート」の配布
数や反響は。

答 8月から配布を開始し、1カ月で
約6千冊をお届けしている。

また、記入の支援などを行う相談窓口
では、約100件の相談を受けている。

エンディングノートを作成した方から
は、「自分の考えを家族に伝える良い契
機になった」「ノートを使って、具体的
な行動に移そうと思った」などの声をい
ただいており、終活を前向きに捉える
きっかけとして使われているものと受け
止めている。

今後も、エンディングノートを活用し
終活の必要
性について
周知・啓発
に取り組む。



わたしのこれからノート



こば たけ
小島 崇弘
誠友会
(50分)
QRコード

市街化調整区域の生活環境の 維持および移動手段の確保は

問 移動、医療、買い物、福祉など
暮らしを支える生活環境の維持が重
要である。地域拠点などへの機能集
積を進める一方で、生活環境の維持や
移動手段の確保など、周辺地域の暮
らしをどのように守っていくのか。

答 現在の既存集落の暮らしもしっか
り支えていく。そのため、優良な農地の
保全を図りつつも、日常生活に必要な施
設の立地を可能にしている開発許可制度
などを今後も適切に運用することで生活
環境を維持する。

移動手段につい
ては、自動運転技
術などの新技術や
オンデマンド乗合
タクシーなどを活
用しながら、通院
や買い物などの日
常生活を支える。



たぐ ち
田口 裕司
誠友会
(55分)
QRコード

保育現場における保護者 からのハラスメント対策は

問 組織的な対応方針やマニュアル、
引き継ぎ体制の整備は。

答 カスタマーハラスメントに対応す
るため、職員向けのハンドブックを策定
し、安心して業務に従事できる環境整備
に努めてきた。労働施策総合推進法の改
正によって示された10項目全てを改めて
ハンドブックに盛り込み、その内容を職
員に周知することとしている。

重度障がい者は

問 重症心身障がい児、障がい者お
よび強度行動障がい者のうち、施設
入所やグループホームなどを利用せ
ず、在宅で生活されている方の概数は。

答 およそ500人である。

